

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
塩山駅周辺地区

令和6年1月

山梨県甲州市

様式2-1 評価結果のまとめ

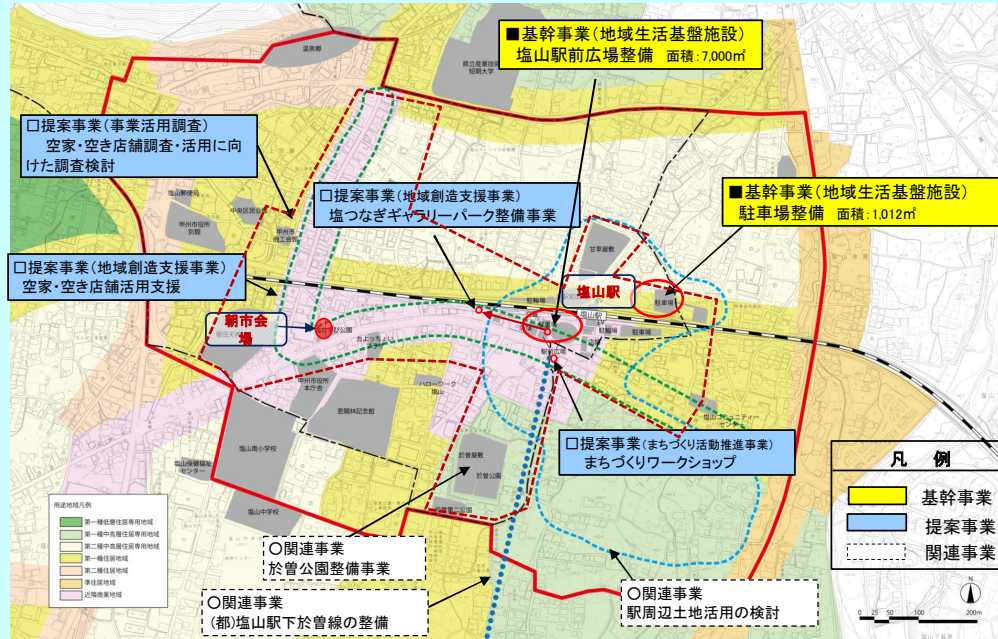
都道府県名	山梨県	市町村名	甲州市		地区名	塩山駅周辺地区			面積	80.0ha		
山梨県	平成30年度～令和4年度	事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	420百万円	国費率	45%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		塩山駅前広場整備、駐車場整備									
	提案事業		まちづくりワークショップ、空家・空き店舗活用支援、空家・空き店舗調査・活用に向けた調査検討、事業効果分析等、まち歩きマップ・案内表示の検討									
			事業名	削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業	-				-				
			提案事業	事業効果分析等、まち歩きマップ・案内表示の検討				影響なし				
新たに追加した事業		基幹事業	-				-					
		提案事業	塩つなぎギャラリーパーク整備事業				影響なし					
交付期間の変更		当初	平成30年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響							
		変更										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	駅前広場利用の満足度	%	約40%	H29	約80%	R04	約62%	△	あり - なし ○	塩山駅前広場整備事業により満足度が向上したが、目標値には至らなかった。	令和7年頃
	指標2	駅周辺の公共駐車場の稼働率	%	約30%(月極駐車場の契約割合)	H29	約80%(月極駐車場の契約割合)	R04	-	-	あり - なし -	令和2年度より市営駐車場月極契約を休止したことにより、目標年度の数値算出が不可能となった。	-
	指標3	駅前通りの空家・空き店舗の活用	軒	0	H29	3	R04	5	○	あり - なし -	空家・空き店舗活用の支援により活用実績が増加し、数値目標の達成に至っている。	-
	指標4									あり なし		
指標5									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	駅周辺の路外駐車場の駐車台数	台/月	420	H29		642				地区の賑わいの回復を受け、路外駐車場の利用者が約1.5倍に増加している。	
	その他の数値指標2	甲州市レンタサイクルぐるりの利用者数	人/年	791	H29		854				レンタサイクルの利用者数が約8%増加するなど、地区の利便性や魅力の向上による来訪者の増加が図られている。	
その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<p>・甲州市景観計画に基づいた色彩でまとめた塩山駅前広場が、市民や来訪者に好評である。 ・塩つなぎギャラリーパークが整備され、地域住民や来訪者が集える休憩所として賑わいが生まれている。</p> <p>・塩むすび広場を朝市会場として活用を始めたことによりコミュニティが生まれ、活気を取り戻しつつある。 ・歴史的風致を正しく理解し散策できるよう作成した外国語版パンフレットが外国人観光客に好評である。</p>											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組				塩山駅周辺地域の賑わいづくりを研究する「甲州市都市計画研究会」の開催				● 研究成果を元に課題解決に取り組む。研究成果の実現に向けて取り組む。			
	持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

塩山駅周辺地区(山梨県甲州市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 歴史・文化を活かすにぎわいある拠点づくり～協働による歩いて暮らせるまちづくりの実現～ 目標1 交通機能・交流機能の強化: 交通結節点としての駅前広場や周辺の機能充実と利便性向上を目指し、賑わいある玄関口の創出を目指す 目標2 賑わい回復に向けた下地づくり: 商業機能、交流機能、居住機能の強化により、暮らしてよし、訪れてよしのまちづくりを目指す 目標3 歴史、文化を活かすもてなしのまちづくり: 歴史・文化を活かし協働によるもてなしのまちづくりを目指す	駅前広場利用の満足度	単位: %	約40% H29	約80% R04	約62% R05
	駅周辺の公共駐車場の稼働率	単位: %	約30%(月極駐車場の契約割合) H29	約80%(月極駐車場の契約割合) R04	- R05
	駅前通りの空家・空き店舗の活用	単位: 軒	0 H29	3 R04	5 R05

基幹事業(駐車場整備)



基幹事業(塩山駅前広場整備)



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 塩山駅前広場及び北口駐車場が整備されたことにより、駅利用者の安全性と利便性が向上した。 駅前広場にイベントスペースを整備したことにより、各種イベントが開催され、集いの場として活用されつつある。 空家、空き店舗の活用が増加し、また地域住民による朝市開催等の活動が活発となり、駅周辺の賑わいが回復してきているが、地区に残る空き店舗の活用を促進させる必要がある。 塩山駅と各地区間を結ぶ公共交通として、市民と観光客を支える公共交通網を一層充実させる必要がある。 コンパクトシティの構築に向けて、本地区への居住誘導を推進していく必要がある。 本地区と市内の各拠点を結ぶ幹線道路網の強化を図る必要がある。また、生活道路の機能強化を図る必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源や回遊ルートを活用し、地域活性化に繋げていくために、魅力の維持と向上を図るとともに、来訪者の増加を目指す。 駅前広場の利活用向上に取り組むとともに、人の交流が生まれるまちづくりを進めることにより、地区の賑わいの回復に繋げていく。 塩山駅を交通拠点とし、各地区間を結ぶ公共交通として、持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図る。 本地区への居住誘導により、コンパクトシティの実現を図り、持続可能なまちづくりを進める。 未整備となっている都市計画道路の整備推進と生活道路の機能強化を図る。